



写真/林冠良

台湾

観光月刊

日本語版第534号

創刊期日：中華民國56(1967)年8月25日
発刊期日：中華民國101(2012)年12月1日
定価：NT\$120

人口260万の大都市台北の最初の玄関口は艋舺(現在の万華)であった。淡水河を遡上した貿易船はここに荷を下ろした。その後近くに土砂が堆積し、物資の集散場は下流の大稻埕(現在の迪化街一带)に移った。1858年の天津条約により淡水港が開港するや大稻埕は国際貿易の拠点として発展し、その栄華のあとはいまも街並みに面影をとどめている。

文/柳本通彦

台湾観光月刊

名誉会長/嚴長寿、張学芳
名誉副会長/謝謂君
会長/張家祝
副会長/戴啟珩、朱鍾宏、李昌霖
発行人/張家祝
編集顧問/戚国福、陳映廷
発行所/財団法人台湾観光協会
住所/台北市民権東路2段9号5F
TEL: 886-2-2594-3261~4
FAX: 886-2-2594-3265
E-mail: tva-seki@umail.hinet.net
http://www.tva.org.tw

台湾観光協会東京事務所
住所/日本国東京都港区西新橋1丁目5-8
川手ビル3F
TEL: 81-3-3501-3591~2
FAX: 81-3-3501-3586
E-mail: tyo@go-taiwan.net

台湾観光協会大阪事務所
住所/日本国大阪府北区西天満4丁目14番3号6F
TEL: 81-6-6316-7491
FAX: 81-6-6316-7398
E-mail: osa@go-taiwan.net

制作/視野国際文化事業有限公司
董事長/嚴立
社長/虞炳昌
總經理/蔣雯
副總經理/嚴寬行
総編集/柳本通彦
編集統括/李建樹
編集副統括/尹銘菁
取材編集/蘇曉晴、鄭靖瑜、張召儀、張舒涵、朱佳雯
特約作者/葉英晋、吉岡生信、酒井亨、YUKARI、藤井雅恵
翻訳者/杉本好美、駒田英、森美恵子
アートディレクター/陳瑞和
デザイン/宋育玖、陳語萱、張馨尹、鄭亦倫
営業部/林睿越、呂麗君、蔡欣宜、楊婉瑜、陳皇亘
発行部/劉乃甄、歐陽致仁、江秀明
財務部/蔡慧君
法律顧問/巨群國際專利商標法律事務所
賴安國 弁護士

住所/104台北市復興北路2号10F-5
TEL: 886-2-2711-5403
FAX: 886-2-2721-2790
E-mail: editor@v-media.com.tw
http://www.v-media.com.tw
印刷/欣佑彩色製版印刷股份有限公司

広告專線：886-2-2721-5412

行政院新聞局出版事業
登記証號碼局版台誌第4388号
中華郵政台北字第1709号執照登記為雜誌交寄

中華民國交通部觀光局
E-mail: tbroc@tbroc.gov.tw
http://taiwan.net.tw

本誌「台湾観光月刊」は財団法人台湾観光協会が出版し版權を所有しています。転載の場合は事前に当協会へお問い合わせください。

20

嘉義

嘉義市は小さいながらも美しい町だ。日本時代の史跡のほか、台南と同じように多くの古民家が点在する。しかも近くに阿里山があることから、ヒノキ造りの見事な和風建築が残されている。

歴史と伝統の町

最近台湾で人気急上昇中の夜市といえは、輔大花園夜市！ここは街道や参道沿いに発展した台北の一般的夜市とは異なり、空き地集合型。中部や南部によくみられるタイプである。輔仁大学や明志科技大学などが近く、若者が集まりやすく、MRT中和新蘆線の開通で交通も至便になり、開幕からたった一年で大盛況を博している。

16

輔大花園夜市

並んでも食べたい美食が大集合

特別企画

台北市西北部の大稻埕は淡水河に接し、かつては貿易港として栄えた。当地を起点に台北の経済・社会・文化は急速に発展し、全盛期には文人や実業家がこの集結した。当地はまた台湾にとって西洋文化に触れる接点でもあった。

08

台北の下町 大稻埕

トラベル特集

1000の魅力

04

国際トラベルフェア日本ゾーン
1000のブースで
1000の魅力



台湾観光月刊ブログ
http://ameblo.jp/taiwan-kankou



業界フロントライン
26 2013年「台湾ランタンフェスティバル」は新竹で
27 「台湾旅行は安全」観光局が「安・近・短・美」をPR
2012年11月台湾観光協会に愛媛県代表団
インフォメーション
03 News 「台湾の窓」
28 十二月以降の文化プログラム
30 数字でみる台湾観光情勢
32 業界短信&とっておき「食泊飲楽」
34 二〇一二―二〇一三台湾各地の行事予定
35 観光ホテルリスト

エコロジカルな旅にご協力ください

地球にやさしく 「緑行動提唱計画」

旅行だって、環境にやさしくなれる。

台湾旅行で宿泊する際には、環境保護ホテルを優先的に選びください。洗面用具を持参し、ホテルが参加する環境保護計画、環境保護理念の推進をご支持ください。わたし達の手で環境保護の種をまき、わたし達が暮らす地球を美しく健康的にしましょう。

環境保護署が推進する「緑行動提唱計画」にご協力ください。

行政院環境保護署は、ホテルに宿泊なさるお客さまに洗面用品の持参を呼びかけています。グリーン生活を推進するため、「緑行動提唱計画」を策定。2012年には400軒以上のホテルが活動に参加しています。グリーン生活＝環境保護理念を根付かせるために、宿泊客が使い捨ての洗面用品を使用せず、または連泊する際にベッドシーツ、タオル等を交換しないだけで、ホテルは費用を取り分け環境保護計画に寄付し、または宿泊割引券、プレゼントを提供します。



環境保護ホテルと詳しい優待情報は環境保護署
「緑行動提唱計画」サイトでお確かめください
<http://greenliving.epa.gov.tw/GreenLife/WalkSing2012/Gaction.html>

